

第2次食の安全安心・食育推進計画
の進捗管理について
～食の安全安心の確保分野～

「食の安全・安心の確保」については、推進計画における3つの視点

- ① 生産から消費に至るまでの食品衛生の確保
- ② 食品の安全性確保のための体制整備
- ③ 食の安全に関する情報の共有と相互理解の推進
に基づいてさまざまな事業を展開している。

平成29年度の取り組み

- ① 生産から消費に至るまでの食品衛生の確保（P4～11）

生産段階においては農薬や動物用医薬品等の適正使用の啓発を実施し、製造から流通、販売における各段階では、大規模な食品製造施設や調理施設、高齢者や子供が対象の給食施設等への監視指導を徹底するとともに、市民の多くが利用する量販店での収去検査や監視指導を実施した。その結果として大規模な食中毒（患者50名以上）や重大な違反事例はなかったことから、生産から販売に至るまでの食品の安全性は概ね確保されているものと思われる。一方で全国的な傾向ではあるものの、加熱不足の鶏肉または鶏肉の生食を原因とするカンピロバクター食中毒が当市でも5件起きたため、事業者を招集し、講習会を実施する等啓発に努めた。また、全国で最も食中毒患者が多いノロウイルスについても冬場だけではなく、1年を通じて食中毒が起これるため、事業者及び家庭での予防啓発に努めた。

しかし、このような行政による検査や監視指導のみでは限界があり、食の安全安心の確保には食品等事業者による自主衛生管理が必要不可欠である。このためには国際標準の食品自主衛生管理の手法であるHACCP（ハサップ）を食品等事業者が導入することが重要であり、中小事業者を含む市内の食品事業者を対象に研修会の開催や個別指導を実施した。

- ② 食品の安全性確保のための体制整備（P12～13）

ここ数年、複数の自治体にまたがる広域食中毒事件が起きており、食品流通の広域化・多様化に対処するために、国や県・他市町村、食品関連団体等との連携強化に努めた。また、市内・関連事業者を含めた各種研修会や講演会を開催するとともに、職員に対する様々な研修を実施して、関係機関の連携と職員の資質向上に努めた。

- ③ 食の安全に関する情報の共有と相互理解の推進（P14～17）

食の安全安心・食育推進会議を開催して関係団体や市民から意見をいただき、可能な限り施策に反映させた。また、食の安全安心の確保、特に安心感の提供のためには、正確な知識や情報の提供が必要であることから、市民等からの食に関する相談に対応するとともに、出前教室、講習会や食の安全安心体験事業などを実施した。さらにホームページを活用して迅速な情報提供にも努めた。

平成30年度の重点的に行う取り組み

平成30年6月に食品衛生法が改正され、広域的な食中毒事案への対策強化、全ての食品等業者を対象としたHACCPの制度化、健康食品等による健康被害情報の収集、食品リコール情報の報告制度の創設、営業許可制度の見直しと届出制度の創設、食品用器具・容器包装のポジティブリスト化等が明記された。今後詳細が明確になり次第、事業者への情報提供と周知に努める。

また、消費者、食品等事業者、行政の三者が一体となって取り組む食の安全安心体験事業を展開し、リスクコミュニケーションの推進を図る。

第2次 熊本市食の安全安心・食育推進計画(平成25年度～平成30年度)「食の安全・安心の確保」施策の体系



熊本市における食中毒発生状況(平成29年)

	発生年月日	原因施設	摂食者数	患者数	死亡者数	原因食品	病因物質	処分内容
1	平成29年2月15日	飲食店	102	49	0	不明 (2/14飲食店提供昼食)	ノロウイルスG	営業停止 (3日間)
2	平成29年5月21日	飲食店	4	4	0	推定(焼き鳥)	カンピロバクター・ジエジエニ	営業停止 (3日間)
3	平成29年6月3日	飲食店	11	8	0	推定(焼き鳥)	カンピロバクター・ジエジエニ/コリ	営業停止 (3日間)
4	平成29年9月7日	飲食店	3	3	0	不明 (9/5飲食店提供食)	カンピロバクター・ジエジエニ	営業停止 (3日間)
5	平成29年10月19日	飲食店	6	5	0	不明 (10/16飲食店提供食)	カンピロバクター・ジエジエニ	営業停止 (3日間)
6	平成29年10月31日	飲食店	4	2	0	推定(焼き鳥)	カンピロバクター・ジエジエニ	営業停止 (3日間)
7	平成29年11月14日	家庭	2	1	0	ふぐの内臓(味噌汁)	テトロドトキシン	なし
8	平成29年11月26日	飲食店	26	14	0	不明 (11/25弁当)	ノロウイルスG	営業停止 (3日間)
合計 8件				86	0			

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

(1) 生産段階における食品の安全性の確保 ～安全に配慮した農林水産物づくり～

取り組むべき施策

安全な農林水産物の生産・供給
農薬・肥料・動物用医薬品等の適正使用の推進
生産履歴記帳の推進

残留農薬の検査

【H30目標】のべ480検体/6年
最大250項目
【H29実績】のべ330検体/5年
214項目

食肉中の残留有害物質対策

【H30目標】160検体 20項目
【H29実績】 実績無し
H28.2末に食肉衛生検査所閉鎖

農薬・動物用医薬品の適正使用と生産履歴の記帳の推進

【H30目標】年間を通して実施
【H29実績】年間を通して実施

水産物の安定提供及び安全性の確保（異物除去機導入率）

【H30目標】継続実施
【H29実績】100%

農産物直販所協議会による各種研究会やイベントの開催（協議会会員数）

【H30目標】継続実施
【H29実績】 13

家畜予防接種実施に対する助成

【H30目標】継続実施
【H29実績】 3,674頭

関係部署

食品保健課、環境総合センター、食肉衛生検査所、農業支援課、各区農業振興課、水産振興センター、農水ブランド戦略室

熊本地方卸売市場残留農薬検査

【H29実績】 残留農薬検体
延べ212検体

関係団体

株式会社熊本地方卸売市場

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	44.4%	49.7%	40%

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

(2) 製造、加工、流通、販売の各段階における食品の安全性確保 ～ 食品添加物や不正表示など食品に対する不信解消をめざして～

取り組むべき施策

食品営業施設等に対する監視・指導の徹底
食中毒予防のための衛生教育の実施と最新情報の提供
高度な衛生管理システムの普及と導入の支援
食品関連事業者が行う自主的衛生管理に対する評価
給食施設における安全性確保
(と畜場における衛生管理の徹底)
いわゆる健康食品等による被害の防止
適正な食品表示の監視・指導

熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導
(監視ポイント数)
【H30目標】年度ごとに策定
(H29 17,380ポイント)
【H29実績】15,065ポイント

出前教室、講座、講習会等による衛生教育や情報提供
(のべ受講者数(人))
【H30目標】のべ60,000人/6年
【H29実績】のべ44,700人/5年

HACCPやトレーサビリティの考え方にに基づく衛生管理手法の普及・啓発
【H30目標】 ---
【H29実績】 継続実施

衛生功労者及び優良衛生施設等の表彰などによる評価
(開催数(回))
【H30目標】1回/年
【H29実績】実績なし

栄養管理、調理師研修会(衛生教育)の開催
(のべ受講者数(人))
【H30目標】のべ4,200人/6年
【H29実績】のべ1,448人/5年

給食施設に対する安全対策の啓発(監視ポイント数)
【H30目標】年度ごとに策定
(H29; 800ポイント)
【H29実績】839ポイント

給食青果物査定会の開催
【H30目標】継続実施
【H29実績】実施

学校給食関係職員 衛生管理研修会 (開催数(回))
【H30目標】1回/年
【H29実績】1回/年

給食物資選定委員会の開催
【H30目標】継続実施
【H29実績】実施

物資納入業者の衛生管理状況確認
【H30目標】随時
【H29実績】随時

小学校給食施設整備(ドライ化)(改修施設数)
【H30目標】37施設/6年
【H29実績】32施設/5年

中学校共同調理場施設整備(ドライ化)
【H30目標】全施設
【H29実績】全施設

保育所給食に従事する調理師等に対する食品衛生研修会の開催
(研修会参加園・施設数)
【H30目標】公立23/23 私立105/130 認可外25/88
【H29実績】公立18/19 私立100/110 こども園49/58 地域型48/73 認可外13/78

保育園での食の安全に関する情報交換
【H30目標】随時
【H29実績】随時

枝肉の衛生対策

【H30目標】継続実施
【H29実績】実施無し
H28.2末に食肉衛生検査所閉鎖

全ての牛、馬、豚について1頭ごとの厳密なと畜検査

【H30目標】継続実施
【H29実績】実施無し
H28.2末に食肉衛生検査所閉鎖

食肉中の残留有害物質対策 (モニタリング検体数)

【H30目標】160検体、20項目
【H29実績】実施無し
H28.2末に食肉衛生検査所閉鎖

薬局、医薬品販売業の店舗立 入り検査(立入検査施設数)

【H30目標】100
【H29実績】105

食に関するホームページへの 情報掲載(回)

【H30目標】12回/年以上
【H29実績】89回/年

熊本市食品衛生監視指導計画に基づく市内流 通食品の収去検査

【H30目標】のべ2,400検体/6年
【H29実績】のべ1,677検体/5年

関係部署

食品保健課、感染症対策課、健康教育課、保育幼稚園課、食肉衛生検査所、環境総合センター、医療政策課、健康づくり推進課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	54.1%	55.9%	40%
	「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	51.6%	55.3%	45.4%	40%
	「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	56.6%	56.4%	40%

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

(3) 食品などの検査

～ 安全な食生活を見守るための施策～

取り組むべき施策

食品の安全確認検査
 残留農薬、動物用医薬品、食品添加物等の検査
 検査機器の整備と精度管理

食肉中の残留有害物質対策 【再掲 - (1)】

【H30目標】160検体 20項目
 【H29実績】実施無し
 H28.2末に食肉衛生検査所閉鎖

熊本市食品衛生監視指導計画に基づく市内流通食品の収去検査 【再掲 - (2)】

【H30目標】のべ2,400検体/6年
 【H29実績】のべ1,677検体/5年

熊本地方卸売市場食品衛生監視所におけるスクリーニング検査

【H30目標】のべ480検体/6年
 【H29実績】のべ203検体/5年

学校給食等に使用する食材等の微生物及び理化学検査

【H30目標】継続実施
 【H29実績】115検体 131項目

保育所給食に使用する原材料の微生物検査

【H30目標】年1回
 【H29実績】実施無し
 H28年度より廃止

残留農薬の検査

【再掲 - (1)】

【H30目標】のべ480検体/6年
 最大250項目
 【H29実績】のべ330検体/5年
 214項目

分析精度管理（外部精度管理）

（環境総合センター）
 【H30目標】6回/年
 【H29実績】6回/年

関係部署

食肉衛生検査所、環境総合センター、食品保健課、健康教育課、保育幼稚園課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	44.4%	49.7%	40%
	「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	54.1%	55.9%	40%
	「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	56.6%	56.4%	40%

生産・流通・消費の各段階における食品の安全性確保

(4) 消費段階における食品の安全性の確保

～ 食の安全安心について高い知識を持つ消費者の育成 ～

取り組むべき施策

家庭、職場、学校等における食品衛生知識の普及と実践
世代ごとのリスクコミュニケーションの充実
食の安全安心について高い知識を持つ消費者の育成

食に関するホームページへの情報掲載(回)

【再掲 - (2)】
【H30目標】12回/年以上
【H29実績】89回

食中毒予防ポスターコンクール(開催回数)

【H30目標】1回/年
【H29実績】実施なし
小学生対象の手洗い教室に移行

小学生を対象とした手洗い教室(開催回数)

【H30目標】15回/年
【H29実績】5回/年

食の安全安心体験事業

【H30目標】<田崎市場体験> のべ600人/6年
<一日食品衛生監視員体験> のべ270人/6年
【H29実績】<田崎市場体験> のべ530人/5年
<一日食品衛生監視員体験> のべ174人/5年

出前教室、講座、講習会等による衛生教育や情報提供(のべ受講者数(人))

【再掲 - (2)】
【H30目標】のべ60,000人/6年
【H29実績】のべ44,700人/5年

消費者団体連絡会支援

【H30目標】継続実施
【H29実績】会議・セミナーへの出席

消費者フェア

【H30目標】
【H29実績】実績なし
*平成27,28年度限りの補助金事業として実施した。

生活衛生推進員制度(推進員数)

【H30目標】50人/年、5回/年
【H29実績】113人/年、0回/年
市民対象セミナーは熊本地震による業務縮小の影響から平成31年度まで開催を休止。

出前講座による健康食品に関する情報提供(のべ受講者数)

【H30目標】100人
【H29実績】251人

関係部署

健康づくり推進課、食品保健課、生活安全課消費者センター、生活衛生課、医療政策課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	「残留農薬」について不安を感じる市民の割合	55.7%	44.4%	49.7%	40%
	「食品添加物」について不安を感じる市民の割合	63.3%	54.1%	55.9%	40%
	「食品の不正(偽装)表示」について不安を感じる市民の割合	51.6%	55.3%	45.4%	40%
	「輸入食品」について不安を感じる市民の割合	65.2%	56.6%	56.4%	40%
	食品の安全性や食品衛生に関する活動に参加している市民の割合	8.9%	6.5%	6.8%	15%
	食品を購入するたびに表示を確認している市民の割合	40.2%	42.3%	32.0%	55%

熊本市独自の食品衛生の確保

(1) 熊本市版食品衛生管理の普及と実践

～熊本の実情を踏まえた食品衛生管理の仕組みづくり～

取り組むべき施策

効果的な監視・指導の充実

熊本市食品自主衛生管理評価事業（熊本市版HACCP）の展開

熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導

（監視ポイント数）

【再掲 - (2)】

【H30目標】年度ごとに策定

（H29 17,380ポイント）

【H29実績】15,065ポイント

熊本市食品自主衛生管理評価制度（熊本市版HACCP）の展開

【H30目標】<のべ取り組み施設数>

のべ60施設

<うち、のべ認証施設数>

のべ30施設

【H29実績】<のべ取り組み施設数>

のべ28施設

<うち、のべ認証施設数>

のべ25施設

熊本市食品等自主衛生管理優良事例紹介事業

（のべ紹介施設数）

【H30目標】のべ100施設

【H29実績】4施設

関係部署

食品保健課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

熊本市独自の食品衛生の確保

(2) 食品の大量取扱業者との情報の共有 ～ 情報の共有による食品の安全性の確保～

取り組むべき施策

行政、市場、大型量販店の情報の共有化

食品安全情報ネットワーク

(情報提供(回数))
【H30目標】24回/年以上
【H29実績】28回

関係部署

食品保健課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

熊本市独自の食品衛生の確保

(3) 熊本の食に関する文化や製品の振興に向けた安全性の確保 ～安全と信頼性の確保によるイメージ向上支援～

取り組むべき施策

- 21) 熊本の水の衛生確保
- 22) 農林水産物、特産品、土産品などの衛生確保
- 23) 健康づくりに協力する飲食店等への支援

熊本市食品衛生監視指導計画に基づく監視・指導
(監視ポイント数)
【再掲 - (2)】
【H30目標】年度ごとに策定
(H29 17,380ポイント)
【H29実績】15,065ポイント

健康くまもと21
(健康づくりできます店)
(登録店舗数)
【H30目標】200店舗
【H29実績】217店舗

地下水質の監視
(監視率)
【H30目標】100%
【H29実績】100%

関係部署

食品保健課、健康づくり推進課、水保全課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

(1) 健康危機管理体制の充実及び強化 ～ 初動対応の充実と被害拡大防止～

取り組むべき施策

- 24) 初動対応の充実による被害拡大の防止
- 25) 新たな健康危機に対応できる体制の構築
- 26) 報道発表など公表による被害拡大の防止
- 27) 食品衛生監視員等の資質の向上

健康危機管理研修会の開催

【H30目標】1回/年
【H29実績】2回/年

食品衛生監視員等の資質向上に係る研修

【H30目標】12回/年
【H29実績】37回/年

食中毒、苦情発生時の迅速な原因究明

【H30目標】随時
【H29実績】285検体 4,181項目

食中毒などの健康被害発生時の迅速な報道発表

【H30目標】随時
【H29実績】8件

関係部署

医療政策課、食品保健課、環境総合センター、感染症対策課、生活衛生課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

国・県・他市町村・庁内関係部署及び食品関係機関との連携

(2) 食品の安全確保のための連携 ～ 食品流通の広域化・多様化への備え～

取り組むべき施策

- 28) 国・県・他市町村及び庁内の連携強化
- 29) 区役所との連携
- 30) 食品関連事業者団体との連携

国・県・他市町村との連携強化
【H30目標】随時
【H29実績】随時

食の安全安心・食育庁内連絡会の開催
【H30目標】2回/年
【H29実績】1回
*平成29年度はワキナグループ会を1回

健康危機管理連絡会の開催
【H30目標】1回/年
【H29実績】1回/年

熊本市食品衛生協会との連携・協働
【H30目標】随時
【H29実績】8回

迅速で正確な検査技術の研究
【H30目標】未知物質の検出演習
【H29実績】可能

関係部署

食品保健課、医療政策課、環境総合センター、関係各課

食品衛生指導員事業
食品衛生普及事業
【H29実績】食品衛生指導員数 98名
巡回指導施設数 1,424件

関係団体

熊本市食品衛生協会、熊本県熊本農政事務所

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

(1) 市民意見の施策への反映 ～お互いの顔が見える関係づくり～

取り組むべき施策

- 31) 市の施策に市民等の意見を反映する体制の充実
- 32) 食の安全安心・食育推進会議の開催

食品衛生監視指導計画に関する
市民からの意見聴取
【H30目標】実施
【H29実績】実施

学校給食 食材の栽培方法や農
薬等の情報交換
【H30目標】---
【H29実績】実施

農産物フェアの開催
【H30目標】実施
【H29実績】実施

出前教室、講座、講習会等によ
る衛生教育や情報提供
【再掲 - (2)】
(のべ受講者数(人))
【H30目標】 のべ60,000人/6年
【H29実績】 のべ44,700人/5年

消費者代表としての各種委員へ
の就任
【H30目標】継続実施
【H29実績】委員就任、会議への出席

食の安全安心・食育推進会
議、部会の開催
【H30目標】2回/年
【H29実績】3回/年

熊本市食品等自主衛生管理優良事例紹介事業
(のべ紹介施設数) 【再掲 - (1)】
【H30目標】のべ100施設
【H29実績】4施設

給食物資選定委員会の開催
【H30目標】継続実施
【H29実績】実施

関係部署

食品保健課、健康教育課、農水ブランド戦略室、各区農業振興課、生活安全課消費者センター、健康づくり推進課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

(2) 食や健康被害に関する情報提供の充実 ～ 正確な情報が確実に届く環境づくり～

取り組むべき施策

33) 正確で迅速な食品情報の収集と発信

市政だより、マスメディアを活用した情報の提供

【H30目標】 随時
【H29実績】 22回/年

食に関するホームページへの情報掲載(回)

【再掲 - (2)】

【H30目標】 12回/年以上
【H29実績】 89回/年

感染症に関する情報提供

【H30目標】 ---
【H29実績】 1回/週

出前教室、講座、講習会等による衛生教育や情報提供

【再掲 - (2)】

(のべ受講者数(人))

【H30目標】 のべ60,000人/6年
【H29実績】 のべ44,700人/5年

ノロウイルス食中毒注意報の発令

【H30目標】 必要時
【H29実績】 発令なし

食品安全情報ネットワーク(情報提供(回数))

【再掲 - (2)】

【H30目標】 24回/年以上
【H29実績】 28回

関係部署

食品保健課、健康づくり推進課、感染症対策課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%
	食事・食品等に関する正しい知識や情報を得ようと努めている市民の割合	—	61.3%	61.0%	75%

H30 旧目標値50%

消費者・生産者・食品関連事業者及び行政の相互理解・信頼関係の確立と推進

(3) 食に関する相談窓口の充実 ～ 正確な情報が確実に届く環境づくり～

取り組むべき施策

- 34) 消費者センターを核とした総合的な相談窓口の充実
- 35) 区役所との連携
- 36) 食品に関する相談窓口の充実

消費者生活相談
【H30目標】継続実施
【H29実績】377件

食の安全安心に関する相談
【H30目標】随時
【H29実績】363件

関係部署

生活安全課消費者センター、食品保健課

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品について安全性が高まってきていると感じる市民の割合	—	59.1%	59.5%	65%

H30 旧目標値50%

食育を通じた食の安全安心の確保

(1) 食の安全性や栄養等に関する理解の促進 ～ 安心して食生活を送るための食育～

取り組むべき施策

- 37) 食の安全性に関する体験を通じた食育活動の推進
- 38) 食育を通じた食の安全に関する情報の共有化
- 39) 基礎的な調査・研究等の実施

栄養管理、調理師研修会（衛生教育）の開催
（のべ受講者数（人））
【再掲 - (2)】
【H30目標】のべ4,200人/6年
【H29実績】のべ1,448人/5年

出前教室、講座、講習会等による衛生教育や情報提供（のべ受講者数（人））
【再掲 - (2)】
【H30目標】のべ60,000人/6年
【H29実績】のべ44,700人/5年

市民健康栄養調査
【H30目標】1回/年
【H29実績】実施無し

食の安全安心体験事業 【再掲 - (4)】
【H30目標】<田崎市場体験> のべ600人/6年
<一日食品衛生監視員体験> のべ270人/6年
【H29実績】<田崎市場体験> のべ530人/5年
<一日食品衛生監視員体験> のべ174人/5年

国民健康・栄養調査事業
【H30目標】継続実施
【H29実績】2地区実施

関係部署

食品保健課、健康づくり推進課、各区保健子ども課

食の安全安心確保に関する研修会
【H29実績】平成29年7月7日開催

第11回田崎市場感謝祭
【H29実績】平成29年12月3日開催
参加者約5万人

関係団体

熊本市農産物直販所連絡協議会、株式会社熊本地方卸売市場

成果指標

No.	項目	H24 基準値	H27 中間値	H30 速報値	H30 目標値
	食品の安全性に関する知識があると思う市民の割合	49.6%	62.6%	50.7%	60%